会　　議　　録

<table>
<tr><td>会　議　の　名　称</td><td colspan="4">平成２９年度第１回小川町地域公共交通活性化協議会</td></tr>
<tr><td>開　催　日　時</td><td colspan="4">平成２９年５月１２日（金）
開会時刻　午前１０時００分　　閉会時刻　午後０時００分</td></tr>
<tr><td>開　催　場　所</td><td colspan="4">リリックおがわ　２階会議室</td></tr>
<tr><td rowspan="12">出　席　者</td><td>役職名</td><td>氏名</td><td>役職名</td><td>氏名</td></tr>
<tr><td>会長</td><td>尾崎　晴男</td><td>監査委員</td><td>山岸　幸男</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>能勢　一幸</td><td>委員</td><td>藤田　幸也</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>矢島　富男</td><td>委員</td><td>山口　典夫</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>神原　正夫</td><td>委員</td><td>堀米　康史</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>田端　健二</td><td>委員</td><td>髙野　寿久</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>山口　勝士</td><td>委員</td><td>海野　四郎</td></tr>
<tr><td>委員</td><td>小川　新一</td><td>委員</td><td>安野　育男</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>会　議　の　議　題</td><td colspan="4">(1)　平成２８年度事業報告・決算報告
(2)　監査報告
(3)　平成２９年度事業計画（案）・平成２９年度収支予算（案）
(4)　デマンドタクシー実証実験の報告について</td></tr>
<tr><td>会議の公開又は非公開の別</td><td colspan="4">公開</td></tr>
<tr><td>会議の非公開の理由</td><td colspan="4">－</td></tr>
<tr><td>傍　聴　人　の　数</td><td colspan="4">１６名</td></tr>
<tr><td>発　言　の　内　容</td><td colspan="4">別紙「発言の要旨」のとおり</td></tr>
<tr><td>会　議　資　料</td><td colspan="4">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>事　務　局</td><td colspan="4">都市政策課 都市政策担当</td></tr>
<tr><td rowspan="2">議事の確定</td><td>確定
年月日</td><td colspan="3">平成２９年　６月１９日</td></tr>
<tr><td>記名
押印</td><td colspan="3">役職名
会長　　尾崎　晴男　　㊞</td></tr>
</table>

別　紙

発言者	発言の要旨
	(1)　平成 28 年度事業報告・決算報告　(2)　監査報告
能勢委員	支出の当初予算額と支出済額に差額が出ているのは、何が理由なのか？
事務局	当初の予算では、再編実施計画の業務委託料で 870 万円を見込んでいたが、798 万 1200 円で済んだこと、また、デマンドタクシー実証実験運行の業務委託料が 300 万円と余裕を持って見込んでいたが、実際は 3 か月で 73 万 4300 円の支出となり、220 万円近く残が出たということで、このような結果になった。
能勢委員	“予算が無くなり運行できなくなる”ということを避けるため、余裕を持って予算確保していたということで認識した。
一同	(1) ～ (2) ついて、原案のとおり承認。
	(3)　平成 29 年度事業計画（案）・平成 29 年度収支予算（案）
海野委員	小川町では高齢化が急速に進んでいる。本格運行は 4 月ということだが、もう少し早めることは不可能か。意見としては、もう少し早めてほしい。
事務局	なるべく早く実施したいとは考えているが、今回はご意見として賜りたい。
山口(勝)委員	全体としての日程の流れは分かりました。それに伴って、12 月くらいから町側の予算が決まって流れもできてくると思うが、今年度の協議会における協議内容と、町の来年度予算との連動の仕方をどのように考えているのか、お聞きしたい。
矢島委員	協議会は町からの負担金等で取り組ませてもらっている。公共交通網形成計画の策定から始まり、実施計画を考えていただき、平成 30 年度からの本格運行に向けて協議を進めていただいていると理解している。 その中で、所管課である都市政策課と財政を担っている政策推進課で密に連携を取っており、平成 30 年度に向けた予算の確保について話し合っている。したがって、この協議会において決定した内容についても、しっかり予算に反映していけるように準備を進めていく。協議会での議論を踏まえて、当初の予算の決定に間に合うスケジュールを考えてもらっているので、その中でしっかりと予算を組ませていただければと考えている。
山岸委員	未登録者の意向把握のために区長ヒアリング等が予定されているが、5 月で 34 地区の区長が変わる。前任からしっかりと申し送りがされていれば良いが、現在の区長がデマンドタクシーの内容を認識していないことも考えられる。誰が未登録なのかを示していただく必要があるし、必要だが登録しなかった方の意見を聞くことが目的である等の、主旨をしっかり説明する必要がある。やり方を分科会で議論し、深める必要がある。

別　紙

事務局	5 月中に分科会を開催予定なので、前の区長なども含めその中で議論していきたい。
小川委員	平成 29 年度の予算の支出だが、平成 28 年度に比べてかなり少なくなっている。平成 29 年度は本格運行するにも関わらず、380 万円程度しかないというのは解せない。
事務局	昨年度は、再編実施計画委託料で 870 万円、デマンドタクシー実証実験の委託料が 300 万円で予算を取っていた為、合計 1170 万円となっていた。今年度は、デマンドタクシーの検討業務委託料として 351 万円を予算として用意している。今年度は、実証実験などがない為、昨年度に比べて予算が安くなっているということである。また、本格運行に向けて新たに登録する方の登録者証の郵送費等は、町の予算で 100 万円用意している。その予算の中で、ポスターによる周知活動なども考えている。
小川委員	本格運行にあたって、現在の実証実験と本格運行の際の登録人数の差は、どのようにお考えか。結局それが予算に跳ね返ってくるのではないか。どのくらいの人数を見込まれてこの予算になっているのか。
矢島委員	本格運行で、新たに登録される方の分を平成 29 年度予算に見込んでいない。今後どのような形で何名見込まれるのかというのを検証しながら、実施させていただくというような形で考えている。
小川委員	これから本格運行の範囲や規模を考えるのだろうが、小川町の全人口をも想定しながら、一応多めにしてあるということを想像した。それからもうひとつは、事業費について、昨年は調査する項目が多かった為、その分今年度は若干減っていると想像はしていた。
山口(勝)委員	先ほど行政側で“十分な予算を確保する”という回答で安心した。質問していただいたことの整理ですが、来年度 4 月に本格運行を実施する為には、今後分科会や協議会の中で、対象地域や年齢等を制限するのか？しないのか？等を議論する必要がある。その内容によって予算に違いが出てきてしまう為、協議しながら内容を決定していくということ。 また、今年度中に受付事務を行わないと 4 月からの実施はできないが、登録してもらう事務費として、現状で既に 100 万円は用意したという理解でよいか。 実際のデマンドタクシーの運行により発生するお金は、来年度以降の話なので、今年度の予算とは関係ないという認識でよいか。
事務局	ご意見のとおりである。
堀米委員	デマンドタクシーの運行に対する補助申請にかかる取組も入っているが、認定にかかる手続きや判断基準が様々あり、スケジュールも含めてどのように考えているのか。
事務局	再編実施計画の作成に向けて、期限などは未定だが、運輸支局の藤田様に個別相談・ご指導いただきながら、進めていきたいと考えている。

別　紙

藤田委員	内容も含めてこれから協議していきたい。また、補助金の交付も考えているということで、そちらも合わせて、スケジュール等についてこれから考えていきたい。ただ、事前に聞いている中では、平成 29 年度中に再編実施計画の作成まで行いたいということなので、可能な限り協力していきたい。
山口(勝)委員	バス路線の維持やバス停の利用、電車の乗降については毎回大きな話題であり、質問も多く、当初からの大きな柱になっている。現状では、先ずデマンドタクシーを新しい公共交通としてつくり上げようということにはなっているが、平行してバス路線やバス停の問題など、地域の方にどのように利用していただくのかも考えていかなくてはならない。そういうことも含めると、このスケジュールでは手一杯になってしまう心配があるので、事務局としても分科会で議論をしつつ、別にきちんと流れを考えておかないと、当初考えていたことができなくなってしまうという気がした。
能勢委員	予算に「デマンドタクシー本格運行計画検討業務委託料」とあるが、再編実施計画の取組については入っていないのか。
事務局	資料の中で、「デマンドタクシー本格運行計画等」の「等」が抜けてしまっている。正式な業務名称は、「デマンドタクシー本格運行計画等検討業務委託」であり、業務内容の中に再編実施計画の取組が入っている。
一同	(3) について、原案のとおり承認。
	(4)　デマンドタクシー実証実験の報告について
田端委員	乗務員・利用者から聞いてみたところ、乗降ポイントとして 97 ケ所を設定したが、金融機関・JA が入っていない為、不便との意見があった。“街中(まちなか)から離れている地域のコンビニや商店、郵便局や公民館など、各地区の自治会館も入れてほしい”という意見や、“メーターが 3,000 円以上になると、自己負担が 1,500 円、往復では 3,000 円になり、金銭的な負担が重い”という意見もいただいた。 オペレーターが病院と美容院を間違うケースもあった。美容院への利用にデマンドタクシーを使いたい方も多かったので、検討が必要である。 2 月・3 月のデマンドタクシーの利用が想定より少なかったのは、いきいきタクシー券の駆け込み利用が多かった為だと考えている。 また、実証実験終了後も利用の電話があったので、本格運行時にぜひ利用いただきたいと伝えた。
能勢委員	乗合形式にするか否かは、今後も検討しないのか。
事務局	乗合形式にするか否かは、分科会等における検討材料になってくるであろうと思うが、現時点では考えていない。

別　紙

能勢委員	関連するタクシー会社等へのヒアリングはこれからするのか。
事務局	関連するタクシー会社やバス会社、事業所等へは、これから事務局から連絡を取り、ヒアリングを実施していく予定である。目的地の病院や、薬局等で協力いただけるところでは、聞き取りもしていく考えである。
能勢委員	今回、利用する際に登録者証の提示がない場合は、通常のタクシーでの利用となるルールだったが、実際そのようなケースはあったか？
田端委員	本来は登録者証を見せていただいて、お名前・登録番号を確認し、目的地まで輸送するというルールだが、登録者証を見せずに口答で名前と番号を言うケースが一件あった。その際は、目的地まで運行したが、今後は対応しないということで、役場の担当者にも報告はさせてもらった。他には特になかった。
山口(勝)委員	障害者手帳の提示が少なかったこともあり、いきいきタクシー券との関連が気になる。実際はどうだったのか？確認が必要である。 また、アンケートの返信の多さに驚いた。デマンドタクシーへの期待がうかがえる。そのアンケートの中で“家族・友人・知人に送迎を頼まずに済んだ”という声が多かったので、高齢者の移動には誰かに頼らざるを得ない現実があるとわかった。デマンドタクシーは、その目的の最低ラインはクリアできたものの、美容院の件でもわかるように、それ以上のサービスを求める意向があるのではないかと思う。そのあたりの対応方法について、議論していく必要があると思う。
山岸委員	八和田地域は、寄居町の病院に通院するケースがかなり多い。移動手段のない高齢者のことを考えると、例外的に町外への移動についても、今後の議論の中に入れることを考えてもらいたい。例外が増えると対応しきれなくなってくるとも思うが、是非お願いしたい。
事務局	ご意見のとおり、例外が例外でなくなってくることにも注意しなければならないが、分科会等で議論していきたいと考えている。
海野委員	老人会は、健康・友愛・奉仕という3つのスローガンで運動しているが、アンケート結果を見ると真逆だったので、私たちの運動が不十分だったと反省している。 また、是非とも乗降ポイントを増やしてほしいと思う。高齢者が外へ出ることによって、認知症防止になる、健康レベルが上がってくる、社会保障費が減ってくる、という効果がある。そういったことも考えながら、議論してほしい。
山口(典)委員	今年の3月に道路交通法が改正され、免許証の返納者が急激に増えている。本格運行の利用登録開始予定の平成30年2月以前に、返納者からデマンドタクシーの利用登録ができるのか、問い合わせが来ることも想定されるが、登録できるのか。ちなみに、平成28年の小川町における免許返納者は108名だったが、今年はそれを上回るペースとなっている。

別　紙

事務局	本格運行の登録受付は、現在の予定では平成 30 年 2 月からであり、未だ不確定事項も多い為、免許返納の際に登録したい旨の申し出があっても、“デマンドタクシーの受付は 2 月からの予定”とお答えいただきたい。本格運行の内容周知を年明け 1 月から開始する予定なので、そちらを見ていただいた上で、“2 月からの登録受付”ということでお願いしたい。 以上